



私たち市民が変わろう。
そうすれば議会も行政も変わる。

3月議会一般質問より、一部を紹介します。

ハコモノ維持費に 320億円!!

君津市内の公共施設567棟について調べた結果、平成25年度から今後10年間で大規模改修や建て替えに必要な費用は320億円に上ることが分かりました。

この巨額な財源をどうやって確保するのか。より一層の支出削減が求められています。

資源ごみ回収業務の民間委託 について

須永: 現在ペットボトルやプラスチックの回収は正規職員がおこなっている。その費用はいくらか?

部長: 人件費が8054万円、車両関係費で537万円である。

須永: ではその業務をおこなっている正規職員の給与は最低いくらから最高いくらか?

部長: 給与月額で最低43万円から最高49万円である。

須永: 月額43万円から49万円の給与で、退職金も2000万円以上出るといふ待遇で、ペットボトルやプラスチックの回収という仕事をやってもらうために、私たち市民は税金を払っているわけじゃない。

速やかに民間企業に委託し、今その業務にあたっている人は配置換えをするべきである。

職員駐車場の有料化 について

須永: 職員駐車場について、有料化検討委員会を立ち上げるとの事であったが、いつから有料化するのか?

部長: 料金設定や本庁舎における駐車場の不足を解消するための課題などについて検討を行い、年内に取りまとめる。

須永: 職員駐車場として使っている土地は市民の財産です。本来入ってくるべき駐車料収入を無駄にしていることになるので早急に有料化する事を求めます。

※他に鳥獣被害対策について、飼料米の生産拡充について、産業廃棄物最終処分場について、受動喫煙防止に向けた取り組みについて、経常収支比率の改善について、勤務成績評価制度について等を質問しました。

窓口を一本化し、民間委託を!

市役所に行き、いくつもの窓口を転々と回されたことはありませんか? 例えば子供が生まれると、市民課、国民健康保険課、児童家庭課とまわり、同じような書類をいくつも記入しなければなりません。

市民が各課に動くのではなく、各課の担当者が一か所の窓口にいれば良いのです。複数の手続きが一か所で完了するようになれば、書類も共有でき、人員も削減できます。

その上で、窓口受付業務は民間に委託し、現在正規職員がおこなっている業務とは切り離すべきです。

わかりやすく言うと現在は、「料理人が接客もしている」状態です。受付や入力に民間委託し、その後の照合・審査・認定・許可といった業務に正規職員を集中させることで、業務の効率は格段に上がります。市民サービスは向上し、民間雇用が生まれ、正規職員の業務は効率化する。

福岡県大野城市ではこの方法の導入により、市民から大きな支持を得ています。



須永和良公式サイト

<http://sunaga-kazuyoshi.com/>

過去の活動報告も読めます。
動画も配信中!

携帯電話用
QRコードはこちら↓



話題の すなが和良ブログ

<http://sunaga33.blog137.fc2.com/>

ブログランキング32位!

(日本ブログ村 政治家全国市区町村)

すなが和良

検索

1977年1月2日生まれ
東海大学卒
県民政治大学修了
政治スクール「千志塾」第3期生
(1期生には熊谷千葉市長もいます)



議員力検定
合格

議会ごとに
活動報告を
発行!

